

2026年2月 熊本赤十字病院治験審査委員会
【会議の記録の概要】

開催日時 開催場所 出席委員名 欠席委員名	2026年2月3日 8時00分～8時25分 熊本赤十字病院 医薬品情報室 荒金 太、山永 成美、村田 美和、大戸 雅史、伴 英樹、陣上 祥子、下田 広祐、井上 亜紀、坂本 達昭 （なし）
議題及び審議結果を含む主要な議論の概要	<p>【1. 審議事項】</p> <p>(1) 初回審査</p> <p>1) 日本新薬株式会社の依頼による閉塞性動脈硬化症を対象としたNS-304の第Ⅲ相試験(二重盲検比較試験) ・治験の実施について審議した。 審査結果:承認</p> <p>2) 日本新薬株式会社の依頼による閉塞性動脈硬化症を対象としたNS-304の第Ⅲ相試験(オープンラベル試験) ・治験の実施について審議した。 審査結果:承認</p> <p>(1) 継続審査</p> <p>1) 武田薬品工業株式会社の依頼による小児活動期潰瘍性大腸炎/クロhn病患者を対象としたMLN0002の第3b相試験 ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p> <p>2) バイオジエン・ジャパン株式会社の依頼による全身性エリテマトーデス患者を対象としたLitifilimab (BIIIB059)の第Ⅲ相長期継続試験 ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p> <p>3) バイエル薬品株式会社の依頼による非糖尿病性慢性腎臓病患者における腎疾患の進行に関して、標準治療に上乗せしたfinerenoneの有効性及び安全性を検討する多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較、第Ⅲ相試験 ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p> <p>4) ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるJNJ-78934804の後期第Ⅱ相試験 ・治験責任医師交代に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・説明文書・同意文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験分担医師の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験契約書、治験参加カードの変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p> <p>5) ヤンセンファーマ株式会社の依頼による急性期虚血性脳卒中又は高リスク一過性脳虚血発作後の脳卒中の再発抑制を目的とした経口第Xla因子阻害剤Milvexianの有効性及び安全性を評価する第3相、ランダム化、二重盲検、並行群間、プラセボ対照試験 ・当院で発生した重篤な有害事象について、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験責任医師交代に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験分担医師の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・説明文書・同意文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・治験参加カードの変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p> <p>6) グラクソ・スミスクライン株式会社の依頼による肺又は腎移植を受けた18歳以上の成人を対象としたRSVPreF3 OAの第IIb相試験 ・日記の改訂に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認 ・山永 成美委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加</p> <p>7) ヤンセンファーマ株式会社の依頼によるクロhn病、潰瘍性大腸炎又は若年性乾癬性関節炎の小児参加者を対象としてグセルクマブの安全性を評価する第3相、多施設共同、非盲検、バスケット、長期継続投与試験 ・治験期間が1年経過するため、治験を継続して行うことの妥当性を審議した。 審査結果:承認</p> <p>8) 中外製薬株式会社の依頼による全身性エリテマトーデス患者を対象としたRO5072759の第Ⅲ相試験 ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p> <p>9) アッヴィ合同会社の依頼によるクロhn病を有する小児患者を対象としたリサンキズマブの第Ⅲ相試験 ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 ・M16-194 治験実施計画書 分冊 改訂に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。 審査結果:承認</p>

- 10) 中外製薬株式会社の依頼による中等症から重症の活動性クローン病患者を対象としたRO7790121の第III相試験
 ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 ・治験責任医師交代に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 ・治験分担医師の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 ・説明文書・同意文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 ・治験責任医師となるべき者の氏名を記載した文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 審査結果:承認
- 11) (治験国内管理人)IQVIAサービスシーズ ジャパン合同会社の依頼による、症候性慢性心不全(rEF)を対象とした第III相試験
 ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 審査結果:承認
- 12) あすか製薬株式会社の依頼によるAKP-022の子宮筋腫患者を対象とした有効性及び安全性をプラセボと比較する第III相臨床試験
 ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 ・説明文書・同意文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 審査結果:承認
 ・荒金 太委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加
- 13) あすか製薬株式会社の依頼によるAKP-022の子宮内膜症患者を対象とした有効性及び安全性をプラセボと比較する第III相臨床試験
 ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 審査結果:承認
 ・荒金 太委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加
- 14) 富士製薬工業株式会社の依頼による日本人子宮内膜症患者を対象に、FSN-013を周期経口投与した際の有効性及び安全性を評価することを目的とした、多施設共同、無作為化、二重盲検、プラセボ対照、並行群間比較試験
 ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 審査結果:承認
 ・荒金 太委員は、当該治験に関与するため審議及び採決に不参加
- 15) ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動期潰瘍性大腸炎患者を対象にicotrokinraによる寛解導入療法及び寛解維持療法の有効性及び安全性を評価する。成人を対象とした多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照並行群間比較第3相試験及び青少年を対象とした第3相非盲検試験
 ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 ・治験参加カードの変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 審査結果:承認
- 16) ヤンセンファーマ株式会社の依頼による中等症から重症の活動期クローン病患者を対象としたIcotrokinraの有効性及び安全性を評価する多施設共同、ランダム化、二重盲検、プラセボ対照並行群間比較第2b/3相試験
 ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 ・治験責任医師交代に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 ・治験分担医師の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 ・説明文書・同意文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 ・治験参加カードの変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 ・治験実施計画書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 審査結果:承認
- 17) ヴィアトリス製薬合同会社の依頼による急性心筋梗塞患者を対象としたselatogrelの第III相試験
 ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 ・説明文書・同意文書の変更に伴い、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 審査結果:承認
- 18) ファイザー株式会社の依頼によるAPD334 / PF-07915503の第II相試験
 ・安全性情報について治験責任医師の見解に基づき、引き続き治験を実施することの妥当性について審議した。
 審査結果:承認

特記事項	
------	--